



《将来に向けた取組方針》

フジタは、「自然を 社会を 街を そして人の心を 豊かにするために フジタは たゆまず働く」を企業理念としています。環境負荷「ゼロ」に挑戦する大和ハウスグループの環境長期ビジョン“Challenge ZERO 2055”およびフジタの生物多様性保全方針を踏まえ、次の4つの生物多様性長期目標を設定し、2030年度までの達成に向けて取り組んでいます。

- ①生物多様性のノー・ネット・ロスの達成、②森林を破壊する木材調達ゼロ、③生物多様性自主基準100%達成、④エコプラス活動100%実施

《具体的取組み事例》

◆オンラインGISを活用した動植物の管理

オンライン地理情報システム（GIS）を活用して、環境影響が懸念される建設工事現場に生息する動植物の保全活動に取り組んでいます。

この事例では、東日本大震災の津波で被災した仙台市内の運河復旧工事でセンダイハギ（宮城県絶滅危惧Ⅰ類）を保全しました。



①生態系調査（事前・工事中）



③植物の再移植、復元



②センダイハギの保護・育成

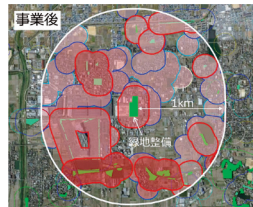


◆グリーンインフラの実装

人や環境保全に役立つ自然の多様な機能やしぐみを、インフラの整備や土地利用にうまく積極的に活用する取組みである「グリーンインフラ」の研究開発、実装化を進めています。



レインガーデン



生態系ネットワーク評価

